

1-3月アジア発米国向け、ゼボ・データマイン調べ

邦船3社・2M・COSCOのコンテナ輸送シェア争い激化

Edited By LogisticsToday On 2017/04/13

ゼボ・データマイン社のまとめによると、1月から3月の3か月間にアジアから米国へ向かったコンテナ輸送量統計に占める邦船3社(日本郵船、商船三井、川崎汽船)の合計シェアは、前年同期の15.4%から16.9%へと1.5ポイント増加した。

これに対し、コンテナ船最大手のマースク(デンマーク)とMSC(スイス)によるアライアンス「2M」のシェアは15.9%から18.5%へと、邦船3社の伸びを上回る2.6P拡大し、相対的には日本勢を引き離す格好となった。

アジア発米国向けコンテナ輸送の船社別シェア（2017年1-3月）

順位	船社名	2017Q1 シェア (%)	前年 同期 順位	前年同期 シェア (%)	TEU前年比 (%)
1	エバーグリーン	11.0	1	9.9	13.6
2	COSCO	10.0	5	6.6	55.2
3	マースク	10.0	2	8.7	17.4
4	MSC	8.5	4	7.2	20.9
5	CMA-CGM	7.7	3	7.7	2.1
6	APL	7.2	7	5.8	26.2
7	川崎汽船	6.1	6	5.8	7.9
8	現代商船	6.1	11	4.7	32.1
9	OOCL	5.6	9	5.0	13.6
10	日本郵船	5.5	10	4.9	14.0
11	陽明海運	5.3	8	5.1	7.1
12	商船三井	5.3	12	4.7	15.1
13	ハパックロイド	4.5	13	4.0	15.4
14	ユナイテッドアラブ	1.6	15	1.5	6.3
15	ZIM	1.6	14	2.0	▲19.0
16	パシフィックインターナショナルライン	1.1	18	0.8	45.8
17	ワンハイ SHIPPING	1.0	16	1.1	▲6.4
18	ハンブルク・スド (SUDU)	0.9	17	1.0	▲11.0
19	マトソン	0.7	19	0.6	23.9
20	ウェストウッド	0.3	20	0.2	9.3
	2M+SUDU	19.4		16.9	17.3
	邦船3社合計	16.9		15.4	12.0

船社別シェア1位は台湾のエバーグリーンで9.9%から11%へと1.1P拡大。

最も伸びが大きかったのは、中国2位のチャイナ SHIPPING を買収したCOSCOで、前年同期の6.6%から10%へと3.4Pの大きな伸びを記録して船社別シェア2位につけ、1位のエバーグリーン(台湾)まで1P差まで迫った。

5位CMAは7.7%で変わらず、6位APLは5.8%から7.2%と1.4Pアップと、上位各社のシェアが拡大した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/285346>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.